

都市再生整備計画

あまたつ だい かい へん こう
天辰地区(第3回変更)

か ご し ま さつ ま せ ん だ い し
鹿児島県 薩摩川内市

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	鹿児島県	市町村名	さつませんがいの 薩摩川内市	地区名	あまちつづく 天辰地区	面積	126.3	ha
計画期間	令和	1	年度	～	令和	5	年度	
交付期間	令和	1	年度	～	令和	5	年度	

目標
大目標 災害に強い安全安心かつ居住環境良好な新しい市街地の創出を目標とする。 目標1 機能的でしかも居住環境良好な子供たちの賑わいのある新市街地の形成 目標2 安心安全なまちづくりの構築
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 本市では、人口減少・少子高齢化が進み、安全かつ良好な住環境の実現や財政面および経済面において持続的な都市経営が困難になることが懸念されている。また、本市では、用途地域外での開発が進んでおり、人口集中地域が拡大する反面、人口集中地区内人口密度は低下していることに加え、他類似都市と比較して空き家が多く、土地利用の面で問題を抱えている。一方で、都市機能は川内駅や上川内駅周辺の市街地に集中しており、本市民の住居意向としては生活サービス施設への利便性が高い地域を選ぶ傾向にある。こうしたことから、令和2年8月に公表された薩摩川内市立地適正化計画に基づいて、川内駅周辺および上川内駅周辺を拠点都市と定め、地域の核となる医療・福祉・商業等の生活サービス機能の充実および鉄道やバス等による公共ネットワークの再構築による機能強化を図り、川内駅の利便性を生かした北薩地域の陸の玄関としてふさわしいまちづくりを推進することで市の中心的な都市機能の集積と、それを支える人口集積の誘導による利便性の高い拠点形成を目指す。 この方針において、天辰地区は、都市拠点の中の居住誘導区域に設定されているが、離合の困難な狭隘な道路や浸水被害を受ける低地も残されているため、天辰地区の土地区画整理事業や一級河川川内川との拡幅整備と一体となり、区画道路、公園等の整備を行うことで、安全かつ良好な住環境の確保、魅力向上により拠点性を高め、人口集積の誘導への寄与、公共インフラ投資・維持管理経費の最適化を図る。
まちづくりの経緯及び現況
天辰地区(天辰第一地区、第二地区)は、薩摩川内市の中心市街地から約2.4km北東に位置し、JR川内駅から約2.0km余りの地点にある。地区の西側は一級河川川内川が流れ、並行して県道山崎川内線が通り、中央部南寄りを東西に一級河川三堂川が貫流し、東側には鹿児島純心女子大学、南側は中心市街地に隣接した面積約126.3haの地区である。 天辰第一地区は平成5年度に地方拠点都市の指定を受けた本市の核となるべき地区として、地区の骨格を形成する都市計画道路の新設、一級河川川内川の拡幅整備とともに、区画道路、公園等公共施設の整備改善を行うため土地区画整理事業を導入し、機能的でしかも居住環境良好な新市街地の形成を図るため、平成12年度から工事着手している。九州新幹線全線開業の影響もあり、現在、新規建築戸数が伸びており良好な居住環境が形成されつつある。また平成16年度からは都市再生整備計画事業を導入し、良好な居住環境が構築され、周辺住民の憩いの場となる公園が創出され、住民と一体となった維持管理体制も構築されている。地区内の私立幼稚園は常に入園希望が多く、また地区内の別箇所に保育園も新設された。新たな保育園計画も浮上しており、若い世代の居住が多くなってきている。 第二地区は現在施行中の天辰第一地区に隣接した地区であり、第一種低層住居専用地域、第二種中層住居専用地域、第二種住居地域、準住居地域に指定されている。地区内には都市計画道路6路線が計画決定されているが、いずれも未整備であり、既存の道路も幅員が狭く、車の離合も困難な状況である。また、第一地区と同様、一級河川「川内川」の河川改修も計画されており、一体的な整備が求められている。天辰地区は地価が安く学校区域も同一であり子供の転校の必要がなく、一地区同様、子供たちの居住環境に良好な市街地となりうる地区である。
課題
天辰第一地区においては、現時点で施行区域内の面整備は約90%程度進んでいるものの、第二地区境の段差や未着手の狭隘な道路と、浸水被害を受ける低平地も一部残されており、防災面においても問題が多い。 また、本市は定住人口増加の政策(新幹線通勤補助、市外からの新規建築補助等)を実施しており、住宅建築が進み、地区内居住者数も増加してきているが、今後ますますの転入増が想定され、第一地区の住宅供用が上限に達する。 よって、第二地区境の宅地造成、区画道路築造および第二地区における一級河川「川内川」の河川改修と合わせた都市計画道路の築造により災害に強い安全で良好な居住環境を早急に創出することが急務である。
将来ビジョン(中長期)
本地区は本市が作成した総合計画の大型プロジェクトのうち「川内川川内市街部改修」に関連する地区で、都市力を創出するまちづくりを基本方針として、機能的で居住環境良好な新しい市街地の創出を目指している。地区内の都市計画道路には本市でその整備を位置付けている2環状8放射道路網のうち「永利天辰線」と、「向田天辰線」及び「大明神血山線」が含まれている。 また、九州新幹線の全線開業に伴い高速交通網が整備され、鹿児島市等への通勤の利便性が向上したことから、住宅需要が増加している。そのため、土地区画整理、道路築造、道路植栽等により災害に強く、安全で良好な子供たちの賑わいのある居住環境の創出及び、効率的で秩序ある都市基盤づくりを目指すものであり、コンパクトシティーの推進における居住誘導地域として位置付けている。

都市構造再編集集中支援事業の計画							
都市機能配置の考え方 天辰地区では、本市の都市拠点に分類され、居住誘導区域に設定されていることから、区画道路や公園整備による良好な住環を創設し、人口集積の誘導を図ることで、本市の人口密度の維持による生活サービスやコミュニティの持続的な確保を目指す。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内の児童数、幼児数	人	天辰地区内の児童数、幼児数	区画道路や公園の整備等による良好な居住環境の創出を図り、児童・幼児数の3割程度の増加を見込む。	374人	平成30年度	500人	R5
都市計画道路向田天辰線における交通事故発生件数	件数/km	未整備区間の年間交通事故発生件数/計画延長	主要都市計画道路の整備により、整備完了区間の発生件数まで減少させ、安全で安心な居住環境の創出を図る。	7.7件/km	平成30年度	3件/km	R5

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・道路築造、道路植栽、土地区画整理事業の実施 河川改修事業の整備と併せ地区内の道路網及び排水系統の整備を図るため、道路築造、道路植栽、土地区画整理事業を実施し、宅地の造成と、地区内の幹線道路である都市計画道路、区画道路を整備し、狭隘道路を解消し災害に強く居住環境良好な宅地の創出を行う。		基幹事業 道路、高質空間形成施設、土地区画整理事業 関連事業 一級河川川内川河川改修工事
その他		
○事業実施中における地区民代表を介した協議会 土地区画整理事業においては、土地区画整理法に基づき土地区画整理審議会を設置し、法に基づく行為の同意を得たり、または、意見を聴かなければならない。本地区においては、法的要件以外にも年3回ほど審議会を開催し、事業内容や地域住民の意見・要望等の協議を実施しており、地元住民一丸となって事業を進めている。		
○事業中の計画の管理について 事業を円滑に進め、目標に向けて効果をあげるため、前述の「土地区画整理審議会」の開催及び情報紙等により住民に情報を発送する。		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	611	交付限度額	252.4	国費率	0.413
---------	-----	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		都市計画道路 向田天辰線	薩摩川内市	直	1864m	R1	R5	R1	R2	2,629	207	207		207	—
道路		都市計画道路 坊ノ下通線	薩摩川内市	直	664m	R1	R5	R1	R5	442	352	352		352	—
道路		都市計画道路 大明神皿山線	薩摩川内市	直	200m	R1	R5	R4	R5	30	25	25		25	—
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設		都市計画道路 永利天辰線	薩摩川内市	直	916m	R1	R5	R1	R1	30	9	9		9	—
高質空間形成施設		都市計画道路 大明神皿山線	薩摩川内市	直	135m	R1	R5	R5	R5	20	18	18		18	—
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	まちおこしセンター														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										3,151	611	611	0	611	1.7

統合したB／Cを記入してください

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														
事業活用 調査														
まちづくり活 動推進事業														
合計										0	0	0	0	0

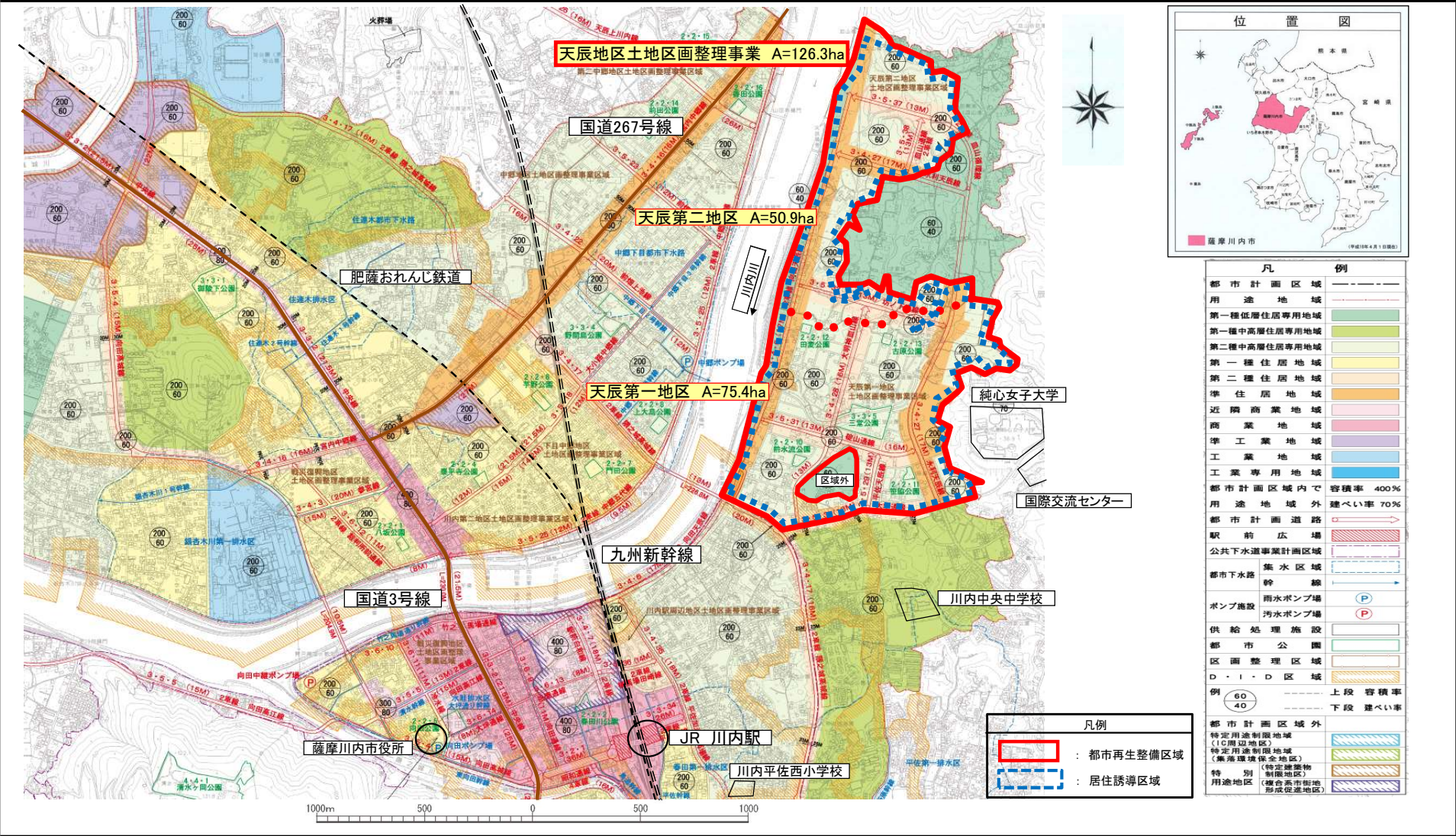
合計(A+B)611

…B

…A

[illegible][illegible]

天辰地区(鹿児島県薩摩川内市)	面積	126.3 ha	区域	天辰町及び平佐町、白浜町の一部
-----------------	----	----------	----	-----------------



凡	例
都市計画区域	-----
用途地域	-----
第一種低層住居専用地域	-----
第一種中高層住居専用地域	-----
第二種中高層住居専用地域	-----
第一種住居地域	-----
第二種住居地域	-----
準住居地域	-----
近隣商業地域	-----
商業地域	-----
準工業地域	-----
工業地域	-----
工業専用地域	-----
都市計画区域内で	容積率 400%
用途地域外	建ぺい率 70%
都市計画道路	-----
駅前広場	-----
公共下水道事業計画区域	-----
都市下水路	-----
幹線	-----
雨水ポンプ場	(P)
汚水ポンプ場	(P)
供給処理施設	-----
都市公園	-----
区画整理区域	-----
D・I・D区域	-----
例	60 上段 容積率
	40 下段 建ぺい率
都市計画区域外	-----
特定用途制限地域 (IC周辺地区)	-----
特定用途制限地域 (集落環境保全地区)	-----
特別用途地区 (特定建築物 製造地区)	-----
用途地区 (複合都市街地 形成促進地区)	-----

凡例
都市再生整備区域
居住誘導区域

天辰地区(鹿児島県薩摩川内市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標 災害に強い安全安心かつ居住環境良好な新しい市街地の創出を目標とする。 目標1 機能的でしかも居住環境良好な子供たちの賑わいのある新市街地の形成 目標2 安心安全なまちづくりの構築	代表的な指標	地区内の児童数、幼児数 (人)	374人 (H30年度) → 500人 (R5年度)
			都市計画道路向田天辰線における交通事故発生件数 (件/km)	7.7件/km (H30年度) → 3.0件/km (R5年度)

